

**製品名: MMP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86302**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:20-1:50, FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 54 kDa; Observed MW:

**抗原情報**

遺伝子名	MMP1
別名	CLG; CLGN
遺伝子 ID	4312
SwissProt ID	P03956
免疫原	ヒト MMP1 の合成ペプチド

**背景**

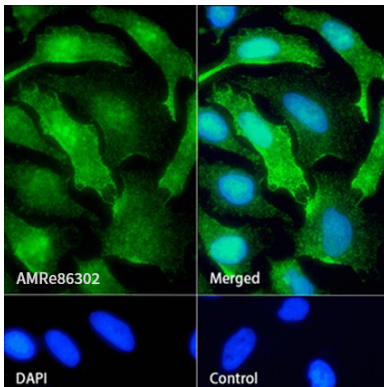
この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ（MMP）のペプチダーゼ M10 ファミリーのメンバーをコードしています。この

ファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、ならびに関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細胞外マトリックスの分解に関与しています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。この分泌型プロテアーゼは、I型、II型、III型を含む間質性コラーゲンを分解します。この遺伝子は、11番染色体上のMMP遺伝子クラスターの一部です。この遺伝子の変異は慢性閉塞性肺疾患（COPD）と関連しています。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードしています。[RefSeq 提供、2016年1月]

## 研究分野

-

## 画像データ



MMP1 ウサギモノクローナル抗体を使用して MMP1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。